

関係の皆さま

一般財団法人栃木陸上競技協会

令和2(2020)年度第66回栃木県陸上競技春季大会(高校・一般の部)兼国体第一次
予選 兼関東選手権予選 の開催に係る態度判断について(経過報告)

日頃より当協会の活動に対し、ご理解とご協力をいただいておりますことを心より感謝申し上げます。
表題の件、競技者の競技機会を確保し陸上競技の振興を適切に図るとともに、これまでの国内外ならびに本県における新型コロナウイルス感染症拡大の状況、さらには県内競技者における競技シーズンに向けた準備の状況等を踏まえ、本日の時点におきまして以下の通り日程並びに内容を変更して実施することを決定しましたので、お知らせいたします。

	旧	新(2020/03/21 態度判断)
日程	4月10日(金)～12日(日)	男子4月17日(金)～19日(日) 女子4月25日(土)～26日(日)
申込締切	3月25日(水)	3月31日(金)

1 競技会運営に係る注意事項ならびに対応事項等

- (1)トラック種目はリレーを含めすべてタイムレース決勝、フィールド種目は試技数制限を設ける
- (2)女子については3日間から2日間開催となるため種目開催(曜)日を変更する(別途、近日指定)
- (3)保護者・応援者等は来場不可＝無観客とする(一般用プログラム販売は行わない)
- (4)当協会医事委員会による指導・支援のもと、クラスター発生ならびに接触感染回避のために想定しうる、あらゆる対応を行う(具体的内容を別途、後日公開)。

2 参加申込に関する諸注意

- (1)すでにNANS21Vシステムにて申込を完了している団体・個人において、以上内容を踏まえ申込内容の変更を希望する場合は、システムにログインして再度編集したデータ(entry.xls)をアップロードしていただくと、変更が反映されます。
- (2)これまでお知らせしてまいりましたとおり、参加料については事前振込を不要とし、当日現金でお支払いいただくことといたします。開催日前日までに中止となった場合、参加料を徴収することはありません。ただし大会初日開催後、何らかの理由により途中で中止となった場合においては、原則としてすべての参加料をお支払いいただくことといたします。

3 その他

- (1)今後の感染症拡大の状況等により対応を変更し、開催中止等の判断をすることがあります。その判断基準については、近日中に栃木陸協ホームページにてお知らせいたします。
- (2)当初4月25日(土)に開催を予定しておりました、第2回栃木陸協記録会(県総合第2)については現時点におきましては中止(＝延期して別日程で開催することはない)といたします。

以上

【参考資料】以下、2020/03/21 栃木陸協「異常事態対応緊急会議」における関連一部資料

※ 以下内容は今後当協会における審議により変更される場合があります。あくまでも2020/03/21の検討過程に関する情報公開資料となりますので、ご承知いただきますようお願いいたします。

なお2020/03/21現在、栃木県では4名の感染が確認されておりますが、いずれも県外における感染源（リンク）が明らか接触によるものであり、県内においては感染拡大、特にクラスター発生や感染源（リンク）が追えない事例等については確認されておられません。すなわち栃木県では、感染者は発生しておりますが「感染状況が確認されていない地域」に属すると判断されます。こうした地域・環境下における屋外のスポーツ競技については、感染拡大の危険性が低いとされております。

ただし、今後状況が変化する可能性は十分にあるため、あらゆる可能性を否定することなく、被害は「起こりうる」ことを前提として捉え、可能な対応策を想定・検討しながら準備を進めてまいります。今後ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくをお願いいたします。

第66回栃木県陸上競技春季大会（高校・一般の部）変更案について

4月10日（金）～12日（日）に予定する標記大会を、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、男子4月17日（金）～19日（日）、女子4月25日（土）～26日（日）の2週に分けて開催することを提案します。

参加申込締切（期限）を3月31日（火）に延長。第2回栃木陸協記録会は中止。

高校総体の申込締切は4月28日（火）、プログラム編成会議を4月30日（木）とし、5月9日（土）開催初日に間に合わせるようにします。女子は総体まで2週間という時期になりますが、全選手の条件が平等となるため止むを得ないものと考えます。以下に具体的内容を示しましたので、ご確認願います。

1 検討を要する視点

(1) 3つの条件の重なり回避

これまで感染が確認された場所に共通していた「3つの条件の重なり」（①換気の悪い密閉空間 ②多くの人が密集 ③近距離での会話や発声）といった環境が生じることを最大限、可能な限り回避し、いわゆるクラスターを発生させない。競技会場だけでなく、往來の交通機関利用についてもこれら環境の発生回避を図る。

(2) 接触感染の回避

ウイルスが通常環境下で最大48時間生存するという知見から、共用で利用するものを極力減らすなどにより接触感染を回避する。

(3) 説明責任対応

外部から感染症予防の対応内容について照会された際に、主催者として何をしたのかを具体的かつ数値化して説明することができる。従来の運営との違いや、期待できる効果を明らかにできる。

(4) 選手の競技参加機会確保と平等性

当大会開催により、各種上位大会の参加等を目指し、日々熱心に取り組む選手の競技機会を確保する。また当初予定の当大会並びに上位大会には男女混合種目がないこと、人数を減らすために地区別で開催するなどした場合は競技機会の平等性を損なう可能性があることなどから、これまで実績がない「男女別週開催」とする（ただし体育館等で行う他の競技種目では一般的に行われている）。

(5) 準備期間の確保

参加者の約8割を占める高校生の多くは、3月2日（月）から23日（月）程度まで臨時休校かつ自主練習対応となっている。仮に3月24日（火）から全体練習が再開できても、当初開催期日4月10日（金）までの準備期間は18日間と短い。さらに全体練習の再開が4月以降となる可能性もある。

自主練習を十分に行ってきた生徒はともかく、準備が不十分な生徒、技能や意識が未熟な生徒も存

在することが想定される。準備期間が短い場合、技能不足や不注意等による事故が発生する可能性が予見されるが、このことを参加者の自己責任とすることは昨今の状況から難しい。そこで高校総体の申込期日等を考慮しながら、開催日を最大限遅らせることとする。

2 感染症拡大予防に係る対応事項

(1) 競技会運営上の対応

- ア 競技開始を 10:00 に遅延（開場 7:30・審判打合せ 8:30）、参加者に時間差集合を呼びかける
- イ 参加は個人種目ひとり 2 種目まで
- ウ トラック種目はすべてタイムレース決勝、リレーは 4 継土曜・マイル日曜の最終種目とする
- エ フィールド種目はすべて 3 回試技のみ
- オ 参加者が 32 名超のフィールド種目は 2 組に分けて実施（1 組 10:00・2 組 12:00 など）
- カ 競技日程に十分なゆとりを持たせる（例 100m は 5 組実施したら 10 分間休憩 など）
- キ 招集開始時刻～完了時刻に幅を持たせる（招集所における選手の集中を回避）
- ク 腰ナンバーカードは使い捨ての布で作成し配布、使用後に各校・各選手で破棄
- ケ 参加者数制限〔男子 900 名・女子 450 名〕を設け先着順とする。（県外登録選手による締切期日直前の駆け込み申込が想定されるため。あるいは県外登録選手を参加対象外とする。）

(2) その他の対応

- コ 用器具を扱う役員・補助員が利用できる薬用せっけん・アルコール除菌スプレー等の準備
- サ 男女更衣室の開放（男子・女子それぞれが男女両方を利用可能）と定期的な換気および除菌対応
- シ 各団体における集合・解散の時間差対応要請（一斉集合・解散を控え、人の集中を回避）
- ス 両週にわたる大学生への審判協力依頼（個人車両による来場を推奨）
- セ 原則として異性の部に来場しない
- ソ 発声応援の自粛要請
- タ 保護者・外部者のメインスタンド来場禁止（スタンド中央の雨が当たらない屋根の下等は団体・選手の待機所として利用し、2 F コンコースの混雑・人の集中を回避）
- チ 発熱者・体調不良者の来場回避を要請

3 2019 年度実績（参加者数等）に基づく混雑具合の想定とその他対応事項

	参加者計	個人種目数	混成	リレー	個人種目数
2019 に基づく想定： 男子 4/17-19	802	1,220	十種 9 八種 12	4 継 36 マイル 17	1 日平均 407 件
2019 に基づく想定： 女子 4/25-26	377	580	七種 6	4 継 18 マイル 15	1 日平均 290 件
2019 実績・男女合計	1,179	1,800	27	86	1 日平均 600 件

- (1) 1 日あたりで実施する平均個人種目数をみると、従来より男子で 3 分の 2、女子で 2 分の 1 に減らすことができる（特に女子においては、更衣室やトイレ等、密室での更衣を行うことが多く、「3 つの条件の重なり」を回避する上で、有効な対応であると考える）。
- (2) 片方の性別のみによる競技日程、さらにトラック種目のラウンド数を減らす・フィールド種目の試技数を減らすなどの対応により、選手の活動のタイミングが大幅に分散され（単位時間あたりに人が集中しにくい）、人の密集による感染機会を回避（あるいは抑制）することが期待できる。
- (3) 通常通りに腰ナンバーカードを「使い回し」で利用した場合、接触感染による被害拡大が想定されるため、これを回避する。レーザープリンター対応の A 4 判ゼッケン 50 枚が 3,000 円程度で購入できる。これを A 4 判 1 枚で 4 分割して 4 人分として利用し、1,600 件分=A 4 判 400 枚=24,000 円程度の経費をもって準備する。

=====
以上、参考資料